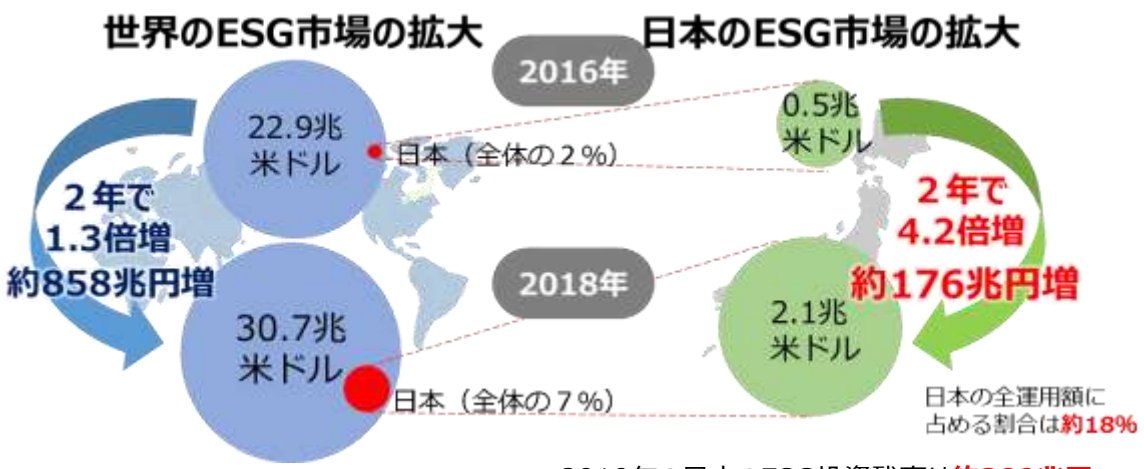
脱炭素ライフスタイルへの転換による需要創出①

- 国内の**排出量の約６割は、ライフスタイル（住宅、移動等）**に起因。ストックとして長期間にわたり経済社会に組み込まれ、排出に影響する住宅や自動車は、**可能な限り早期の脱炭素化**が重要。
- 脱炭素ライフスタイルへの転換で、**個人消費の誘発と、新たなグリーンビジネスの機会創出**（脱炭素製品・サービスの製造・提供へ）。
- 住宅関係の省エネ機器・製品、電動車は、国内市場のみならず、**世界市場への展開**も期待。
  ※世界の持続可能な建物市場：2030年に約520兆円 （IEA「Global ABC Roadmap for Buildings and Construction」）
  ※世界の電動車市場：2035年に60兆円 （株式会社 総合プランニング「2020年版 電気自動車関連市場の最新動向と将来予測」）
- 2016～2050年の**エネルギー関連投資額は、世界全体で合計130兆ドル**と推計
  （ IRENA：Global Renewables Outlook ）
- 国内外の**ESG市場は拡大**。日本のESG投資残高は約3兆ドル（2019年）、2016年から**3年で約6倍**。地域金融機関によるESG金融を通じて、地域の観光や地方創生にも貢献。

出典：IRENA, Global Renewables Outlookより環境省作成



2019年の日本のESG投資残高は**約300兆円**

出典：Global Sustainable Investment Alliance (2018), “Global Sustainable Investment Review 2018
及びNPO法人日本サステナブル投資フォーラムサステナブル投資残高調査公表資料より環境省作成